

ロシア（極東）

経済概況

2011年上半期の極東地域の固定資本投資は、対前年同期比54.5%の大幅な伸びを示した。もともと投資額の大きいサハリン州及び沿海地方で大幅に増加したことが寄与している。サハリン州は対前年同期比2倍、沿海地方は同55.0%増で、金額はいずれも1,000億ルーブル強であった。ただし、資金源の構成には違いがあり、沿海地方では投資額の28.0%が連邦財政からで、地方分も合わせると財政投資が36.4%に達するのに対し、サハリン州では財政投資は連邦・地方分を合わせても1.8%に過ぎない。サハリン州では外国投資の存在が大きく、第1四半期の外国投資額は23億ドル（600～700億ルーブル程度）に達した。

鉱工業生産が最も増加したのは、沿海地方で対前年同期比22.8%増であった。主要産業の一つである水産業関連では、鮮魚・冷蔵魚が同32.0%増、加工・保存魚が同18.9%増加した。また、非鉄物性建材が77.8%、セメントが14.4%増などとなっている。上半期の供用開始住宅面積は前年同期比39.5%増であり、APEC向け大規模インフラ投資以外でも活発な建築活動が鉱工業生産を刺激していることが感じられる。鉱工業生産全体に占める割合は小さいものの、家庭用冷蔵・冷凍庫（前年同期比60.6%増）や家庭用洗濯機（同2.8倍）などもこうした状況を反映した、特徴的な動きと言えそうである。

ポストーチヌイ宇宙基地

ここ数年、極東開発の目玉となっていたのは2012年のウラジオストクでのAPEC首脳会議の開催とそれに向けた大規模なインフラ整備であった。首脳会議まで残り一年となった今、これらのインフラ整備が会議に間に合うか否かといった関心は残るものの、ほぼ先は見えたといつてよい。そこで、関心は「その次」に移ることになる。

こうした中、注目されるのはポストーチヌイ宇宙基地だ。これは、アムール州中部に建設が計画されているもので、

2015年には第1期が竣工する計画である。APECの際と同様、そのための特別な政府プログラムが策定されることになっている。連邦特定目的プログラム「2006～2015年のロシアの宇宙基地の発展」のサブプログラムとして準備されている「ポストーチヌイ宇宙基地を支えるインフラ構築」がそれにあたる。このプログラムの基本コンセプトは2011年3月に政府承認¹されており、プログラム自体も関係省庁との調整が終わり、政府（閣議）での検討に送られているようだ²。このプログラムの内容は未公表であるが、予算規模としては2011～2015年に817億ルーブルを投入することが予定されている³。APEC準備のためのプログラム「アジア太平洋地域の国際交流拠点としてのウラジオストク市の発展」の事業費（6,629億ルーブル）に比べると規模的に見劣りすることは否めない。ただ、後者も当初はこれほどの規模ではなく、後から「サハリン～ハバロフスク～ウラジオストク天然ガスパイプライン建設（事業費2,485億ルーブル）」などが付け加えられて事業費が膨らんだ経緯がある。ポストーチヌイ宇宙基地でも同様の展開がないとも限らない。いずれにせよ、人口100万人にも満たないアムール州にとって、日本円で2,000億円を超える投資のインパクトは大きいといえよう。

こうした明るい将来展望があつてのことかどうかは定かではないが、足元のアムール州経済は好調である。今年上半期の固定資本投資は前年同期比82.2%増であり、供用開始住宅面積は同2.3倍であった。小売売上高も14.0%増と他の極東諸州と比べて際立った伸びを示している。

アムール州は、アムール川（中国名：黒龍江）を挟んで中国と接する一方、海を持たない内陸州であるため、日本との接点が少ない地域であったが、実はシベリア鉄道、バム鉄道が東西に貫通し、その両者を結ぶ連絡線を持つなど交通の要衝である。また、極東最大の穀倉地帯であるとともに、水力発電を中心に電力供給基地になりつつあり、鉄鉱石など鉱山開発も進められようとしている。今後、同州への内外の関心が高まるのではないかと

（ERINA調査研究部主任研究員 新井洋史）

鉱工業生産高成長率（前年同期比%）

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	10・1-3月	10・1-6月	11・1-3月	11・1-6月
ロシア連邦	8.0	5.1	6.3	6.3	2.1	▲ 10.8	8.2	5.8	10.2	5.9	5.3
極東連邦管区	7.5	2.6	4.2	22.6	17.9	3.5	7.4	12.2	13.8	6.1	7.4
サハ共和国	12.5	▲ 6.6	0.0	0.2	3.5	▲ 8.7	17.5	8.2	17.3	17.1	11.7
カムチャッカ地方	0.3	6.6	1.6	3.9	3.0	▲ 7.5	5.0	6.1	10.4	12.6	17.3
沿海地方	17.8	19.7	12.6	1.0	8.6	▲ 4.5	11.5	8.9	9.5	23.9	22.8
ハバロフスク地方	1.7	4.5	▲ 10.7	9.1	▲ 12.1	▲ 5.2	24.7	23.7	29.1	2.9	12.2
アムール州	0.2	▲ 4.3	4.7	6.4	11.5	10.6	4.6	8.6	6.1	14.2	17.2
マガダン州	▲ 4.4	2.6	▲ 11.2	▲ 7.3	1.1	5.9	3.8	9.5	11.5	▲ 1.4	1.0
サハリン州	9.3	12.7	31.1	2.1倍	▲ 13.0	21.9	1.2	16.1	12.2	0.2	1.9
ユダヤ自治州	1.0	3.0	4.2	10.5	5.2	▲ 8.3	1.2	3.8	5.0	▲ 7.6	5.6
チュコト自治管区	6.2	20.4	▲ 9.1	▲ 11.2	3.1倍	38.1	▲ 6.2	11.6	1.2	▲ 5.2	▲ 6.3

（出所）『ロシア統計年鑑（2009年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2009年第1四半期、9月；2010年12月、2011年3、6月）』；『極東連邦管区の社会経済情勢（2010年第1、第2四半期）』（ロシア連邦国家統計庁）。

¹ 2011年3月29日付、ロシア連邦政府通達第535-r。

² 連邦宇宙庁長官ウラジーミル・ポポフキン氏の発言。2011年8月17日付、RIAノーボスチ。<http://ria.ru/science/20110817/418765530.html>（2011年9月5日参照。）

³ 連邦特定目的プログラム紹介サイト。<http://fcp.vpk.ru/cgi-bin/cis/fcp.cgi/Fcp/ViewFcp/View/2011/355/>（2011年9月5日参照。）

固定資本投資成長率（前年同期比％）

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	10・1-3月	10・1-6月	11・1-3月	11・1-6月
ロシア連邦	13.7	10.9	16.7	22.7	9.8	▲ 16.2	6.0	▲ 4.1	1.3	▲ 0.8	2.7
極東連邦管区	40.3	7.4	2.3	18.9	7.8	29.9	▲ 1.9	▲ 34.7	▲ 16.9	38.0	54.5
サハ共和国	5.7	30.2	2.1	92.2	12.0	99.5	▲ 42.7	24.4	▲ 61.9	37.0	18.6
カムチャッカ地方	▲ 26.3	12.0	5.2	33.5	1.5	▲ 8.0	7.1	2.6倍	169.8	▲ 15.3	▲ 6.3
沿海地方	8.3	29.3	6.4	20.6	33.7	60.8	17.1	▲ 36.5	▲ 3.9	57.5	55.0
ハバロフスク地方	23.7	1.8	8.7	22.9	1.6	0.1	27.4	2.6倍	72.9	13.2	23.5
アムール州	3.2	▲ 5.3	5.1	38.9	21.8	34.6	14.1	▲ 26.4	5.3	2.3倍	82.2
マガダン州	15.2	5.3	23.9	28.7	2.4	▲ 19.6	▲ 19.2	▲ 36.6	▲ 13.3	96.9	48.2
サハリン州	2.8倍	1.7	0.3	▲ 18.1	▲ 6.7	▲ 32.1	7.8	▲ 8.9	11.7	6.6	2.0倍
ユダヤ自治州	2.1倍	54.5	▲ 1.2	20.3	▲ 18.5	▲ 10.2	2.1倍	2.8倍	193.4	3.5倍	2.0倍
チュコト自治管区	▲ 35.9	▲ 38.6	▲ 38.6	1.6	37.5	34.5	▲ 68.9	6.0	▲ 94.8	0.7	2.9倍

（出所）『ロシア統計年鑑（2009年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2009年4、10月、2010年1、10月；2011年1、4月）』；『極東連邦管区の社会経済情勢（2010年第1、第3四半期；2011年第2四半期）』（ロシア連邦国家統計庁）。

小売販売額成長率（前年同期比％）

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	10・1-3月	10・1-6月	11・1-3月	11・1-6月
ロシア連邦	13.3	12.8	14.1	16.1	13.5	▲ 5.5	4.4	1.3	3.4	4.7	5.3
極東連邦管区	10.3	12.5	12.9	11.2	10.4	0.2	3.4	5.0	4.3	3.5	3.3
サハ共和国	2.3	5.5	8.6	7.4	7.6	2.1	3.6	1.3	2.8	1.3	2.2
カムチャッカ地方	2.4	5.3	10.8	12.8	9.4	2.0	1.6	▲ 3.4	0.3	1.5	1.5
沿海地方	15.6	19.0	12.9	11.8	9.9	▲ 2.9	1.4	4.3	1.5	3.3	2.2
ハバロフスク地方	10.2	13.5	13.3	15.3	7.9	3.8	6.2	5.2	2.8	5.2	2.7
アムール州	16.9	10.6	13.7	12.0	12.8	▲ 2.5	6.0	6.5	5.2	8.4	14.0
マガダン州	2.3	8.3	9.6	10.0	3.1	▲ 1.4	3.7	7.4	6.4	3.6	2.1
サハリン州	14.9	14.6	22.1	7.9	20.0	0.2	1.6	10.7	14.0	1.7	1.5
ユダヤ自治州	15.2	9.5	5.4	6.1	8.1	1.9	1.5	1.3	2.8	1.4	0.2
チュコト自治管区	▲ 6.3	▲ 1.3	6.4	12.9	26.3	▲ 0.3	8.2	33.7	20.0	▲ 3.3	▲ 1.8

（出所）『ロシア統計年鑑（2009年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2010年3、9、12月；2011年3、6月）』；『極東連邦管区の社会経済情勢（2009年版、2010年第1、第2四半期）』（ロシア連邦国家統計庁）。

消費者物価上昇率（前年12月比％）

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	10・1-3月	10・1-6月	11・1-3月	11・1-6月
ロシア連邦	11.7	10.9	9.0	11.9	13.3	8.8	8.8	2.4	4.4	3.8	5.0
極東連邦管区	11.3	13.3	8.8	9.6	13.6	9.7	7.7	2.1	4.5	3.0	5.1
サハ共和国	10.8	12.1	11.9	9.0	12.5	8.2	6.0	1.2	3.7	3.5	5.4
カムチャッカ地方	11.3	21.5	11.6	10.1	14.8	10.7	10.2	1.5	6.3	1.8	3.8
沿海地方	10.8	12.4	7.1	9.7	13.5	9.5	7.0	1.9	3.0	2.1	3.8
ハバロフスク地方	13.8	13.6	8.7	9.8	14.1	9.5	8.1	2.1	5.7	3.6	6.3
アムール州	12.6	13.2	9.1	9.6	14.1	9.6	9.4	2.2	5.3	4.3	5.5
マガダン州	9.4	12.4	8.1	13.3	19.3	13.4	8.5	2.2	4.1	4.6	6.5
サハリン州	11.5	14.1	10.4	11.8	13.1	10.7	10.0	5.5	7.0	2.8	6.0
ユダヤ自治州	12.1	14.5	5.5	11.7	15.0	12.2	9.5	2.9	4.6	4.2	5.9
チュコト自治管区	11.1	15.3	11.2	7.5	9.9	17.2	1.4	3.0	4.6	2.4	4.1

（出所）『ロシア統計年鑑（各年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2009年3月、2010年6、9、12月；2011年3、6月）』；『極東連邦管区の社会経済情勢（2010年第1四半期）』（ロシア連邦国家統計庁）。

実質貨幣所得成長率（前年同期比％）

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	10・1-3月	10・1-6月	11・1-3月	11・1-6月
ロシア連邦	11.2	11.7	14.1	13.1	3.8	0.9	3.8	6.3	4.5	▲ 2.7	—
極東連邦管区	8.6	10.4	12.1	10.8	3.4	2.7	3.6	7.5	5.6	2.9	—
サハ共和国	6.1	5.8	6.1	5.1	8.6	1.4	2.1	▲ 1.1	1.8	4.3	—
カムチャッカ地方	5.9	6.8	7.1	8.7	4.9	3.6	6.4	8.5	13.4	5.1	—
沿海地方	14.7	15.4	15.0	10.6	4.0	4.7	6.4	5.2	8.1	9.2	—
ハバロフスク地方	6.9	8.5	14.3	12.1	▲ 4.9	8.1	5.7	19.1	▲ 2.5	▲ 2.8	—
アムール州	5.5	9.6	10.3	19.6	11.5	▲ 3.2	▲ 1.3	6.7	11.8	12.2	—
マガダン州	2.1	3.1	9.1	6.8	1.0	▲ 0.9	1.8	14.6	▲ 2.9	▲ 6.5	—
サハリン州	10.7	14.4	14.1	12.4	6.8	▲ 2.6	▲ 1.5	2.9	12.9	▲ 8.9	—
ユダヤ自治州	7.0	8.3	8.3	5.5	12.0	3.7	2.1	2.1	5.9	▲ 1.5	—
チュコト自治管区	▲ 5.2	17.3	7.2	4.4	5.2	▲ 7.9	▲ 10.2	5.7	▲ 6.7	15.1	—

（出所）『ロシア統計年鑑（2009年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2009年4月、2010年4、7、10月；2011年1、4月）』（ロシア連邦国家統計庁）。

平均月額名目賃金（ルーブル）

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	10・1-3月	10・1-6月	11・1-3月	11・1-6月
ロシア連邦	6,740	8,555	10,634	13,593	17,290	18,795	21,193	19,485	20,145	21,354	22,277
極東連邦管区	9,115	11,508	13,711	16,713	20,778	23,308	26,066	23,956	24,634	26,389	27,766
サハ共和国	11,315	13,437	16,168	19,409	23,816	26,570	28,630	25,721	26,545	30,061	33,327
カムチャッカ地方	12,298	15,477	18,541	21,815	27,254	31,676	36,504	32,481	34,826	35,191	37,425
沿海地方	7,033	8,926	10,903	13,174	16,805	19,002	21,895	20,093	20,841	22,290	23,080
ハバロフスク地方	8,948	11,336	12,888	15,884	18,985	20,995	23,064	21,310	21,667	23,199	24,404
アムール州	7,354	9,392	11,111	13,534	16,665	18,846	21,843	20,418	20,732	21,989	22,773
マガダン州	11,175	14,673	17,747	22,102	28,030	33,027	37,646	33,084	34,415	38,406	39,578
サハリン州	11,711	15,243	18,842	23,346	30,060	33,261	35,808	34,997	34,579	35,652	36,140
ユダヤ自治州	6,514	8,190	9,529	11,969	15,038	16,866	20,247	19,240	19,741	21,192	21,785
チュコト自治管区	18,618	23,314	25,703	30,859	38,317	42,936	47,383	42,950	45,657	46,939	50,137

（出所）『ロシア統計年鑑（2009年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2009年4月、2010年1、10月；2011年1、4月）』；『極東連邦管区の社会経済情勢（2010年第2四半期；2011年第2四半期）』（ロシア連邦国家統計庁）。